

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 橋本正己
新潟県山岳協会
上越市南城町2-3-37
TEL 025-524-7215

事務局 稲田春男
柿崎町百木1023
TEL 0255-36-3958

編集 新山協ニュース編集
委員会代表 諏訪恵一
TEL 0258-35-4373

静岡国体山岳縦走競技 少年男子1位 少年女子4位

さる10月25日から28日にかけて静岡県水窪町で開催された国体山岳競技で本県選手団は、少年男子が第1位、少年女子が第4位と上位入賞を果たし、新潟県の得点獲得に大きく貢献した。

競技初日(26日)の少年クライミングは練習不足から決勝に進むことができず、成年縦走も全国強豪多数の中健闘するも25位の結果となった。

競技二日目の少年縦走には男子が10時スタート、続いて女子がスタートした。コースは市街地と山岳地約半々であるが、市街地では駅伝出身等の選手に先行を許すも山岳地では普段のトレーニングの成果を発揮し次々と先行選手を追い越し、男子樋口選手が1位でゴールし、若井選手も6位でゴールし、駅伝選手を揃えた宮崎県を19秒差で押さえ1位となった。女子も駅伝等出身選手が上位でゴールする中、水野選手が8位でゴールし、小

林選手も11位でゴールし、4位入賞とした。成年クライミングは難易度が上がり普段の力が発揮できなかったが今井選手の粘りは「さすが」と思われた。

今回から種目別に得点が与えられることになり、各県とも得点獲得を目指し種目を絞って選手派遣をしているように見受けられた。この状況の中現地合宿を4回こなした選手団の結果が成果に現れたものと思う。また、クライミングはいかにトレーニングを重ねるかが大切かと感じた。

選手・監督の皆さん、ご家族の皆さん、応援に駆けつけてくださった協会関係者ご苦労様でした。物心両面で支えてくださった皆さん大変ありがとうございました。

6年後の二巡目国体まで、その後までもがんばりましょう。

国体委員長 森 庄一

男女総合成績

| 順位 | 府 県 名 | 競技得点 |
|----|-------|------|
| 1 | 静岡県 | 99.0 |
| 2 | 千葉県 | 69.0 |
| 3 | 京都府 | 69.0 |
| 4 | 鳥取県 | 51.0 |
| 5 | 熊本県 | 45.0 |
| 6 | 新潟県 | 39.0 |
| | 大阪府 | 39.0 |
| 8 | 神奈川県 | 36.0 |
| | 山口県 | 36.0 |
| | 長崎県 | 36.0 |

女子総合成績

| 順位 | 府 県 名 | 競技得点 |
|----|-------|------|
| 1 | 静岡県 | 57.0 |
| 2 | 京都府 | 45.0 |
| 3 | 熊本県 | 33.0 |
| 4 | 鳥取県 | 30.0 |
| 5 | 長崎県 | 27.0 |
| 6 | 茨城県 | 24.0 |
| | 千葉県 | 24.0 |
| | 岡山県 | 24.0 |
| | 山口県 | 24.0 |
| 14 | 新潟県 | 15.0 |



少年男子の表彰風景

個人成績

○縦走

成年男子
佐藤 昭則 44位
今井 浩二 64位

少年男子

樋口 大棋 1位
若井 一樹 6位

少年女子

水野 美咲 8位
小林 美久 11位

○クライミング

(左ルート、右ルート順)

成年男子

木村 達史 9位
今井 浩二 20位

少年男子

樋口 大棋 9位
脇田 大翼 19位

少年女子

小林 美久 17位
丸山 由貴 25位

(注)

十はプラス
一はマイナス
Nはノーマル

静岡国体を振り返って

競技部長 渡邊 正之

7月下旬、安塚町で行われた北信越国体が終り成年男子のほかに、少年男女がブロック代表として静岡国体の代表権を勝ち取った。

静岡国体に向け現地会場を使った現地合宿を4回計画したが、1回目は、台風10号の到来とぶつかり、やむなく中止せざるを得なかった。縦走のゴール地点へとつながる道路は3箇所土砂崩れを起し不通となった。

2回目の合宿は8月の下旬に実施し、参加したのは少年のクライミング選手のみ。まだ他県の選手があまり合宿に来ておらず、クライミング練習にゆっくりとした時間が持てた。縦走コースも練習に入る選手は少なく、熊よけの鈴をつけてコースの大津山を私ひとりりで往復した。

3回目は9月初旬に出かけ、クライミングと縦走と両方の会場に分かれて練習に入った。大津山のゴール地点に至る道路はまだ通行止めになっていて、選手にはゴールから再び



縦走競技のスタート風景

でもこの経験が生かせるように、高校最後のシーズンで頑張りたいと思います。脇田大翼(糸魚川白嶺高校) クライミング出場

国体結果については森国体委員長の報告をご覧いただきたい。

少年男女選手からのひと言

【少年男子】

樋口大棋(十日町高校)

クライミング・縦走出場

縦走では体調が良かったので、上位を狙っていました。

登山道に入ってから、きつ

いところがありました。高統

の選手の足音がだんだん遠ざ

かって行き、チャンスだと思

いました。クライミングでは

ブロック予選の時のような登

りが出来ませんでした。い

い経験をさせていただきまし

た。来年も出場できるように頑

張りしたいと思います。

若井一樹(十日町高校)

クライミング・縦走出場

直前の山田昇杯の好

調を持続できたのが良

かったと思います。千

段の階段上りはさすが

にこたえました。事前

合宿での走り込みでイ

メージした通りの走り

ができたことと、優勝

できたことはとてもよ

い思い出です。また、

クロスカントリースキー

るよう、高校最後のシーズンで頑張りたいと思います。脇田大翼(糸魚川白嶺高校) クライミング出場

クライミングは自分のイメ

ジの登りができず、大変悔し

かったですが、全国の高いレ

ベルのクライミングを見て、

もっと練習しなければという

気持ちになりました。九州の

では、学校が終わってから夜

12時近くまで、クライミング

を特訓する高校があるそうで

す。全国には自分よりもっと

頑張る人がいることを知り勉

強になりました。

【少年女子】

小林美久(十日町高校)

クライミング・縦走出場

今回で2回目の国体でした

が、やはり大きな大会なので

緊張しました。1日目のクラ

イミングは良い成績を残せま

せんでしたが、2日目の縦走

競技で4位に入賞が出来て、

とても満足です。昨年も縦走

で5位に入賞しましたが、自

分で走って勝ち取った今回の

4位という結果は、本当にう

れしかったです。

水野美咲(十日町高校)

クライミング出場



が、今年は、狙っていった勝ちとった入賞なので喜びはとて大きいです。私はスキーのトレーニングの一環としてやっているわけですが、こうして国体に出場し、民泊したりと貴重な体験をすることができて、「頑張っているとチャンスはめぐってくるものだ」と感じました。応援ありがとうございました。丸山由貴(海洋高校) クライミング出場

初めて国体という大きな大会に出場して、緊張しました。クライミングの成績は悪い結果になってしまっても残念でしたが、この経験したことはとても私のためになっていると思います。いい経験をありがとうございました。

第37回自然保護研修会に参加して

朝路の会 浅野 亘寛

新潟県山岳協会自然保護委員会主催で、10月18日、19日の両日上越市下馬場多目的研修センター並びに青田南葉山を会場として、第37回自然保護研修会が開催された。参加者は38名。研修会開催に先立ち橋本正己協会長の挨拶に続き本間一人自然保護委員長から過日県環境企画課の方々と自然保護に関して情報交換、意見交換の場を持ったことについての報告があった。また、これらの話に付随して古来日本の山々と森林は人々にとつて豊饒のシンボルそのものであった。それら大切な財産の中を活動の場とする我々登山者は特に人為的に破壊される環境に目を向け、現在の登山風潮によるオーバーユースの結果の登山道の荒廃、草地、池塘等の裸地化の問題、県外の団体などが巻機山で取り組んでいる池塘復元ボランティア主体との連携。トイレ問題では切迫必要性のある山域と

して飯豊、小松原湿原等々切実で県内何箇所か有る土壌処理システムトイレの誘致希望登山者のマナーとして積極的な携帯トイレの携行を訴えられた。また、既設の胎内ダムに連携して計画されている奥胎内ダムへの見学会に参加された人達が必要性に深い疑問の念を懐いていると訴えられた。

うか。1000年の永き時間を経てようやく一つの森が形成されるとか、拝聴しながら、地球というすばらしい存在を害する唯一の生物が人間と再認識した。荒廃する里山失われる緑のダム、の問題提起の中で森林破壊の実態・森林伐採・スキー場開発・治山事業であると挙げられ、安らぎの〇〇、〇〇エコミュージアムとか無駄な林道を作り伐採を行う行政の都合の良いキャッチフレーズの言葉の影で衰退を続け、また、間伐等手入れの行き届かない森林、所を選

ばぬ手入れの無い儘の杉の植林地、等。なお疑問をよび責任回避とも取れる行政の例として国土交通省湯沢砂防事務所ホームページから、緑（森林）を整備すれば土砂災害が防げ、ダムが不要になるか一、我が国は、既に世界有数の森林国です。二、我が国の森林面積は、過去100年大きな変化はありません。三、森林は中小洪水では一定の効果を有するものの治水事業で対象とするような大雨の時には森林地域であっても降雨はほとんど流出します。等、標語は続く

と。特に森林の涵養のことは深く考えさせられた意義ある講演、研修会だった。情報交換の中で矢管山岳会松尾氏の村松白山小屋の携帯トイレ常設の熱心なお話も今後の指針として参考になった。待望の懇親会もタップリの銘酒と豚汁で盛り上がったが決勝戦まではとてどもとて。翌19日はまずまずの天気の中、午前7時宿泊の研修センターを出発、南葉高原で高田ハイクの会員の方々に見送られて美しく紅葉したコースを登る、むささび会の加藤氏のオオモミジ等の説明を聞きながら9時10分南葉神社の石祠の有る頂到着。10時下山、豊に色づいた樺林をアケビ料理のウンチクを聞き、下越山岳会の上条氏からナラ茸のプレゼントも、11時40分登山口で解散となったが、非常に有意義で実り多い研修会だった。

熱心に講師の話を受講者



が疑問はつるばかりである。ダム建設は魚類等生態系に大きな変化を及ぼしている事。井上先生の持参された数多い動物たちの頭蓋骨標本の前で荒廃した里山、激減したノウサギ、その原因、増大する野生動物被害とその原因、イノシシ、サル、等々、全国で多種多数の外来種が定着し在来種を圧迫のこ

紙面構成の都合上、「山と岩石」はお休みさせていただきます。

お知らせ

○新潟県山岳協会新年会

一、期日

平成一六年一月二四日(土)

一四:〇〇 受付

一四:三〇~一六:三〇

新年会

三、会場

新潟第一ホテル

新潟市花園一三二

新潟駅より徒歩5分

〇二五二四三二二

四、会費

七千円(当日会場にて徴収)

五、申込先

総務委員長 七沢恭四郎

〒943-0154

上越市稲田四一三二

TEL&FAX

〇二五二五二二七六六一

六、締切り

平成一六年一月二四日

※葉書またはFAXにてお申し込みください。

〇SSF世界スポーツフォト

コンテスト2004

一、募集作品

躍動する肉体の美、ヒュー

マニズムあふれる感動のシー

ン、ゲームの決定的瞬間など、

スポーツに関するあらゆる写真。

但し、過去の本コンテストで入選した作品は除きます。

二、応募資格

プロ・アマを問いません。

三、応募方法

作品のサイズ 四切プリントとします。カラー/白黒

は問いません。(ワイド四切プリント可)

応募できる点数に制限はありません。組写真及びポート

フォリオは一組6枚以内とします。

応募した写真、ポジ、ネガ、フィルム、データ及び添付書

類は返却しません。

四、応募締切

二〇〇四年一月三〇日(金)

【必着】

五、結果発表

二〇〇四年五月中旬【予定】

六、賞/賞金

ゴールドプライズ:…一点

トロフィー

賞金五〇〇万円 他

六、応募作品の送付先/問合せ先

〒105-0001

東京都港区虎ノ門一五

一六

笹川スポーツ財団内

SSF世界スポーツフォト

コンテスト事務局

TEL 03-3580-5854

FAX 03-3580-5968

e-mail: wspec@ssf.or.jp/

URL: http://www.ssf.or.jp/

○魚止めの滝木橋の通行止め

について

松平山登山コースの魚止めの滝木橋が、老朽化のため大

変危険な状況となっております。

このため、改修までの間「通行禁止」との表示が現地及び

登山口に設置されることになりました。

当該木橋は改修できない状況にあり、11月14日

頃に撤去の予定です。現場には迂回路等がありませんので、

松平山登山コース、入三階滝

遊歩道の利用には、大荒川の

徒渉が必要となります。

〈問合せ先〉

笹神村役場商工観光課

長川さん

TEL 0250-62-4141

FAX 0250-62-1877

国体カンパ

ありがとうございます

ありがとうございました

多くの方々からカンパを頂きありがとうございます。

お陰さまで静岡国体でも優秀な成績をおさめることができました。

お名前を掲載し、お礼に代えさせていただきます。

(事務局)

青木弘、朝路の会、阿部信一、五十嵐和則、五十嵐力、石田

国夫、井春文、岩崎功、内山

豊、遠藤家之信正和、下越山

岳会、柿崎山岳会、柏崎山岳

会、片桐一夫、加藤紀代子、

亀田山岳会、北村猛、草間雄

一、後藤正弘、小林勇、坂井

英樹、佐藤照夫、清水迪男、

杉原八百樹、杉本敏、諏訪恵

一、高田ハイキングクラブ、

土田幸雄、十日町山路の会、

栃尾山の会、豊栄山岳会、内

藤修、南魚山岳の会、日本山

岳会越後支部、橋本正巳、平

田大六、藤井信、本間一人、

見附山岳会、むささび会、室

賀輝男、弥彦山岳会、悠峰山

の会、ゆきみ山の会、横井芳

隆、渡辺富衛(五十音順)

登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025) 243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

http://www.parrmark.co.jp